



私が描く
2024年
戦略

踏み出した一步をさらに加速 安心して住み続けられる地域へ

北海道知事 鈴木 直道氏

2023年4月に再選を果たし、2期目の道政に挑む鈴木直道北海道知事。24年は道民の暮らしに直接関わる社会経済の回復をはじめ、食と観光、そしてラピダス社の北海道進出を後押ししに、デジタル×グリーン

の推進に取り組んでいく。
(取材・11月30日、道庁知事応接室)

物価高から道民の生活を守る

——昨今の電気料金をはじめ、食料品など暮らしを直撃する値上がりに対して、道としての取り組みや知事の考えをお聞かせください。
鈴木 道ではこの状況を受け、価格高騰等の経済対策を策定し、生活への影響が大きい低所得世帯などへの特別給付金、そして子育て世帯に対しては、お米券・牛乳券の支給を行

つてきました。一方で、エネルギーや原材料等の価格高騰が長期化しています。道民の皆様や事業者の方々を取り巻く環境が厳しさを増すなか、生活や経営を支えるという観点から、その影響の軽減に向け、適切に対応する必要がありますと考えています。——具体的にはどのような対策を。

鈴木 道としては、社会経済活動回復の後押しを行い、持続的な経済の発展につなげていくため、11月2日に閣議決定された国の新たな経済対策を活用することで、物価やエネルギー価格高騰の影響から道民の皆様の生活を守り、事業者の方々の負担が軽減されるよう引き続き取り組んでいきます(12月5日、道は子育て世帯への「お米券・牛乳券」の支給やLPガスの負担軽減など145億円の補正予算を提案した)。——2023年はラピダス社の千歳工場進出が大きな話題となりました。今後、次世代半導体産業が北海道にもたらす効果やビジョンについてのお考えは。

〈すずき なおみち〉埼玉県出身。高校卒業後、99年4月東京都庁入庁。2004年法政大学法学部法律学科卒業(都庁に勤めながら4年間で卒業)。08年夕張市へ派遣。10年4月内閣府地域主権戦略室へ出向、夕張市行政参与。同年11月東京都庁退庁。11年4月夕張市長選に出馬、2期当選。19年2月夕張市長辞職。同年4月北海道知事選に出馬、当選。現在2期目。



続きは『**月刊クオリティ**』本誌を
ご覧ください。

▼ ご購読のお申し込みは ▼

○インターネットでのお申し込みはこちらから
<https://qualitynet.co.jp/koudoku/>

○お電話でのお申し込みはこちらから

TEL 011-644-0101

(9:00 ~ 17:30 土日・祝日をのぞく)